

JICS2021年度の主な取り組み

案件概要

専門的知見を活用した的確な改訂版の作成

JICAは、2019年から2021年にかけて、円借款事業に係る標準入札書類(以下、SBD[※])7種類の改訂版(英語)を公開しました。それを受け、仏語および西語版の6種類のSBD改訂、さらに1種類のSBD作成、また改訂内容の説明資料の作成も行っています。

※ SBD:正式な書類名は、STANDARD BIDDING DOCUMENTS UNDER JAPANESE ODA LOANS

- ▶ 契約名：円借款事業にかかる標準入札書類(仏語・西語)の改訂業務
- ▶ 契約締結先：独立行政法人国際協力機構



業務第三部 業務第二課
田上 ヴァネッサ
(たがみ)



標準入札書類(仏語・西語)の改訂業務メンバーによる
オンライン会議

案件概要

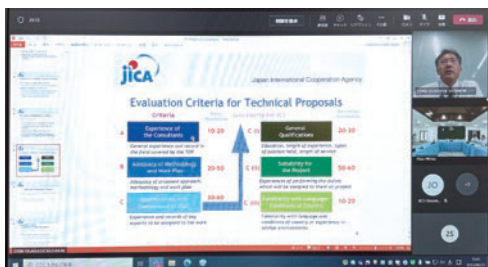
事業の円滑な実施に向けた調達の第一歩

迅速かつ円滑なプロジェクト実施が望まれる円借款事業の実施機関に対し、調達の第一歩となるコンサルタントの選定を支援するセミナーを行いました。新型コロナウイルス感染拡大による状況を鑑み、対面でのセミナーに代わり、オンラインによる開催となりました。

- ▶ 契約名：2020年度-2022年度円借款事業に係る調達支援業務(コンサルタント選定)(ロットA)
- ▶ 契約締結先：独立行政法人国際協力機構



業務第三部 業務第一課
尾ヶ口 和典
(おがぐち かずのり)



オンラインセミナーオンライン会議

円借款

円借款事業にかかる標準入札書類(仏語・西語)の改訂業務:翻訳以上の価値の提供を

SBDに精通したネイティブによる的確な成果品

本業務では、JICAの調達理念やSBD改訂主旨を正確に理解したうえで、世界銀行など国際金融開発機関の標準入札書類との整合性にも留意する必要があります。円借款調達関連書類一次チェック業務に従事し入札・調達監理に精通していることに加え、仏語・西語を母国語とする担当者2名が中心となった作業により、英語版の改訂主旨を的確に反映した、単なる翻訳ではない、明解な仏語・西語版SBDを作成しています。

発注者が確認しやすいドラフト作成

改訂の対象となるSBDは7種類あり、各言語の合計は2,000ページ以上に及びます。JICSは、2004年から受託している円借款調達関連書類一次チェック業務などを通じ、SBDを熟知しています。最も汎用性のあるSBDを最初に改訂するなどの作業工程上の工夫、ドラフトとは別に確認事項だけをまとめたデータの作成や、ドラフト内の変更箇所がわかりやすいような工夫をしました。発注者からは「先回りした作業のおかげで、助かる」という評価をいただきました。

円借款

円借款事業の実施機関に対する調達支援セミナーの実施

案件実施において、組織としての経験を活かし、促進に貢献

JICSは、円借款事業の調達関連書類について、調達規則などの合規性を確認する業務と、ODA事業の実施機関の調達支援業務を行っています。これらの経験から、まずJICAの規則や方針に準拠したうえで、調達および契約管理上の諸事情を考慮した、調達関連書類の作成例を描きます。セミナーでは、その完成型を念頭に置いて講義や演習を行うことにより、事業の確実かつ効率的な実施に貢献しています。

知識の再現性と持続性を重視したセミナー用資料

調達には受講者以外の実務者および承認権者も関与するほか、受講内容は選定期間から契約管理期間の長期にわたって、必要な知識です。そのため、受講内容は、受講者のみの一時的な知識にとどまらず、広く持続的に活用されることが重要と考え、セミナー用に配布する資料は、演習資料や参考資料も含めて、知識の再現性と持続性を重視しました。この方法に関しても、前述した、組織としての経験が可能にしています。